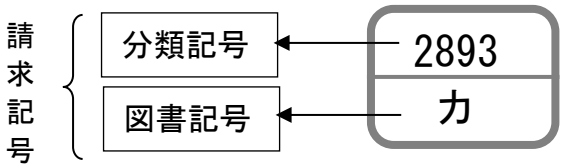
中央区立図書館調べかた案内　入門編

『本の並び方』

図書館に並ぶ本の背表紙につけられているラベル。このラベルを見れば、その本がどこにあるのか、また、だいたいどんな内容の本なのかがわかるようになっています。

図書館の本は、各図書館で定めた「請求記号」の順番に並べられています。本についているラベルに書かれているのが、この「請求記号」です。「請求記号」とは本の住所のようなものです。

中央区立図書館の請求記号は数字とカタカナからできており、この数字の部分を分類記号と呼びます。
この分類記号の数字がどうやってつけられているかというと「ＮＤＣ（日本十進分類法）」というものに基づいて決められています。ＮＤＣとは本の内容を数字で表したものです。



※京橋図書館では現在、ラベル表記の変更を行っており、従来の4桁表記の他に、3桁表記のラベルや、小数点を入れた4桁、もしくは5桁表記のラベルがあります。

※日本橋図書館の請求記号には数字だけのもの、カタカナだけのもの、数字＋アルファベットや数字＋カタカナのものがあります。

ＮＤＣ（日本十進分類法）

まず、本の内容によって大きく10個にジャンル分けされます。これは分類記号の一番左の数字にあたり、[一次区分]といいます。例えば「3260」という分類記号なら、一番左の「3」を見て社会科学系の本だということがわかります。

［一次区分］
０：総記　１：哲学　２：歴史　３：社会科学　４：自然科学　５：技術　６：産業
７：芸術　８：言語　９：文学

さらに[二次区分][三次区分]と下のケタにいくほど細かく分類できるようになっています。ここでは一次区分で、それぞれの分類にどんな内容が含まれるか主要なものだけ見てみましょう。

0
パソコン
（Word,Excel 等）
読書案内
著作権
雑学
ジャーナリズム

1
哲学
心理学・占い
人生訓
宗教

2
歴史
伝記
地理・地図
旅行・紀行

3
政治・法律
経済・社会
教育
風俗・民俗学
軍事・国防

4
数学・物理
化学
天文
生物
医学・健康

5
建設・建築
機械・通信
金属・製造
自動車・船舶
料理・手芸・育児

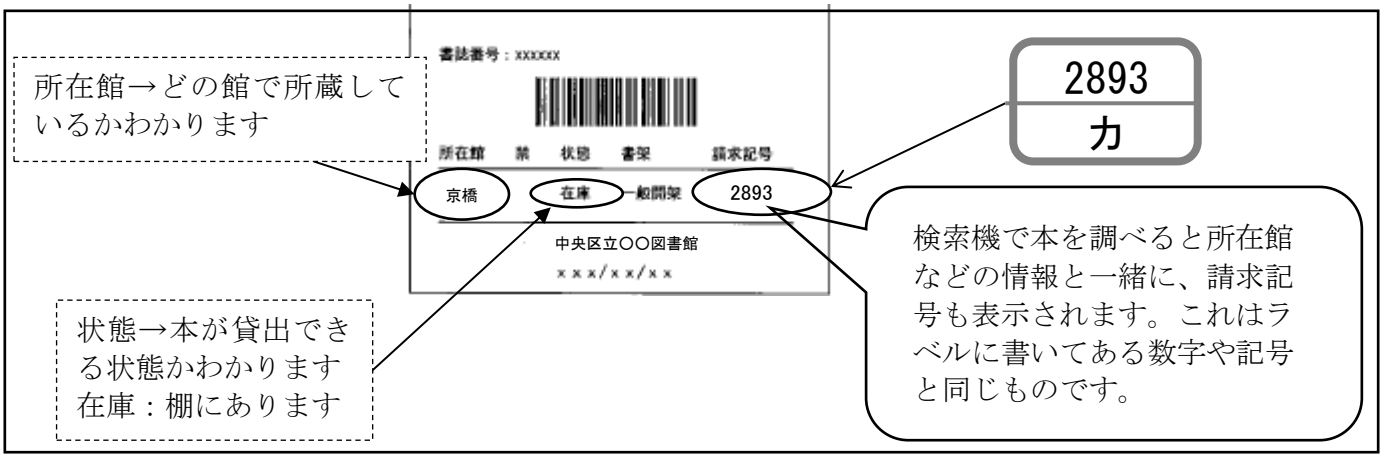
6
農業・園芸
水産業
マーケティング
鉄道・交通
郵便・放送

7
芸術・美術
写真集・カメラ
音楽・演劇
映画
スポーツ
娯楽

8
日本語
手紙
スピーチ
各国の言語

9
作家論
詩歌
ノンフィクション
文学・小説
エッセイ

本のラベルと資料詳細表



分類記号の前についているのは…？

分類記号の前にＲやＫなどアルファベットがついているものがあります。これは特徴のある資料をまとめて、一般図書とは別の棚に置いているときにつけています。

（地域資料）　Ｋ　：京橋図書館地域資料室所蔵
　　ＫＮ：日本橋図書館所蔵
　　ＫＴ：月島図書館所蔵
　　ＫＨ：晴海図書館所蔵
（その他）　Ｌ　：大活字
　　Ｒ　：調べものに使う参考図書など
　　Ｙ　：ティーンズ（10代）向け
　　Ａ　：京橋図書館の旅行・地図コーナー
　　Ｂ　：京橋・日本橋図書館のビジネスコーナー
　　Ｃ　：京橋・日本橋図書館の子育てコーナー
　　Ｅ　：京橋図書館の演芸・演劇コーナー
　　Ｇ　：京橋・日本橋・月島・晴海図書館の外国語図書コーナー
　　Ｈ　：京橋図書館の医療・健康コーナー
　　Ｐ　：京橋図書館のパソコンコーナー
　　Ｓ　：京橋図書館の新書
　　ＹＢ：京橋・晴海図書館のティーンズ（10代）文庫
　　など

分類記号のうしろについているのは図書記号

分類記号のうしろのカタカナは著者名（伝記などでは書かれた人物）の頭文字で、図書記号や著者記号と言います。書架ではアイウエオ順、アルファベット順に並んでいます。

図書館の書架

書架の配置は、各館で異なりますので、それぞれの館へおたずねください。